

講座概要

講座名	社外取締役トレーニング 2019 短期集中【午前】コース
対象	企業の取締役(社内・社外)またはその候補者。コーポレートガバナンス担当役員。取締役会サポート部門の管理職。 ※トレーニングに関係する業種の方のお申し込みはお断りいたします。
講座の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 忙しいビジネスパーソンのための、重要なトピックに絞った短期間で学べるプログラムです。 ○ 社外取締役の起用が進むなか、企業価値向上のためにどう貢献できるのか、具体的に何をすべきか、その役割を学びます。 ○ CEOの役割や企業内容開示布令など、最近のガバナンス改革の重要テーマをとりあげ、知識のブラッシュアップにも最適なコースです。 ○ 2001年の設立時より、コーポレートガバナンスの普及・啓蒙活動を行ってきた日本取締役協会の活動経験を活かし、実績のある講師陣に迎え、知識や情報を提供します。
参加特典	終了後のアップデートプランが充実:トレーニングコースの受講生・修了者は、識者、参加者と自由に意見交換を行う社外取締役懇談会(ランチ会)への参加が可能です。(費用別途)
主催	一般社団法人 日本取締役協会
会場	日本取締役協会 ボードルーム(JR 浜松町駅直結・世界貿易センタービル 6F)
定員	20名(先着順に受付)
受講料	80,000円(消費税別)※日本取締役協会会員 60,000円(消費税別)
日時 プログラム	<p>[Day 1] 2019年10月9日(水) 10:00~11:30 講師:東京大学名誉教授 弁護士 落合 誠一氏(CEOを考える委員会・副委員長) テーマ:CEOの果たすべき役割 【ポイント1】わが国のCEOの意義を明らかにする。 【ポイント2】取締役会とCEOとの関係を明らかにする。 【ポイント3】CEOの選解任、任期、報酬等のあり方を明らかにする。</p> <hr/> <p>[Day 2] 2019年10月16日(水)10:00~11:30 講師:G&S Global Advisors Inc. 代表取締役社長 橘・フクシマ・咲江氏 テーマ:経営者後継のベストプラクティス 【ポイント1】なぜ経営者後継者プランが必要か 【ポイント2】経営者後継プランにおける独立取締役・指名委員会の役割とは 【ポイント3】経営者後継プランを成功させるには</p> <hr/> <p>[Day 3] 2019年11月5日(火)10:00~11:30 講師:西村あさひ法律事務所 パートナー 弁護士 太田 洋氏(コーポレートガバナンス委員会・副委員長) テーマ:企業情報の開示・提供の在り方 【ポイント1】役員報酬に関する開示強化 【ポイント2】政策保有株式に関する開示強化 【ポイント3】非財務情報に関する開示強化とTSRの開示導入</p>

[Day 4] 2019年11月13日(水)10:00~11:30

講師: みさき投資 株式会社 代表取締役社長 中神 康議氏(独立取締役委員会・委員長)

テーマ: 企業価値とは何か、どうすれば持続的に上がるのか

【ポイント1】 長期投資家が考える企業の本質的価値とはどう算定されるのか

【ポイント2】 本質的価値はどうすれば持続的に上がるのか

【ポイント3】 投資家との対話のポイントは何か? 社外取締役の役割とは何か?

◆講師プロフィール◆(講演順)

東京大学名誉教授 弁護士 落合 誠一 氏

東京大学法学部卒業、同法学部助手、成蹊大学法学部教授等を経て1990年から東京大学大学院法学政治学研究科・法学部教授、2007年から中央大学法科大学院教授。現在、東京大学名誉教授、弁護士。専門は、商法、消費者法。近時の主な単著としては、『会社法要説(第2版)』(有斐閣、2016年)、『消費者法』(有斐閣・2001年)等、共著としては、『新基本コンメンタル会社法(第2版)Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ』(日本評論社、2009年)、他に共単著・論文多数。日本私法学会理事長、法と経済学会会長、日本保険学会理事長、自動車損害賠償保険審議会会長等を歴任し、昨年は、自動運転における損害賠償責任に関する研究会(国交省)座長となった。また、明治安田生命保険(相)取締役、日本電信電話(株)監査役、宇部興産(株)監査役等の社外役員も務めている。

G&S Global Advisors Inc. 代表取締役社長 橘・フクシマ・咲江 氏

1972年清泉女子大学卒業。78年ハーバード大学教育学修士、87年スタンフォード大学経営学修士取得。ハーバード大学日本語講師、ペイン・アンド・カンパニー(株)のコンサルタントを経て91年コーン・フェリー・インターナショナル(株)入社。日本支社長、会長を経て2010年から現職。その間、米国本社取締役を12年間兼務。02年より花王、ソニー、ブリヂストン、三菱商事、味の素等、日本企業10社の社外取締役を及び日本政策投資銀行アドバイザーボードを歴任。日本取締役協会幹事。03年より経済同友会幹事。11年より15年は副代表幹事を務める。内閣府、文部科学省、経済産業省等で委員を歴任。2008年1月ビジネスウィーク誌「世界で最も影響力のあるヘッドハンター・トップ100人」に唯一の日本人として選ばれる。同年北カリフォルニア日米協会賞を受賞。著書に「世界のリーダーに学んだ自分の考えの正しい伝え方」(PHP)、「人財革命」(祥伝社)、「売れる人材」(祥伝社)他多数。人財・キャリア開発、企業統治に関する執筆・講演多数。

西村あさひ法律事務所 パートナー 弁護士 太田 洋 氏

1991年東京大学法学部卒、1993年第一東京弁護士会弁護士登録、2000年ハーバード・ロー・スクール修了(LL.M)、2001年米国NY州弁護士登録、2001年~2002年法務省民事局参事官室(商法改正担当)、2003年1月西村あさひ法律事務所パートナー、2013年4月~2016年3月東京大学大学院法学政治学研究科教授、現在、西村あさひ法律事務所パートナー弁護士。(株)リコー社外監査役、日本化薬(株)社外取締役、電気興業(株)

社外取締役、(公財) ロッテ評議員、日本取締役協会幹事、同協会コーポレート・ガバナンス委員会副委員長、金融審議会ディスクロージャーWG 委員、経済産業省「我が国企業による海外 M&A 研究会」委員。近著に、『M&A・企業組織再編のスキームと税務〔第 4 版〕』(共編著、大蔵財務協会、2019)、『M&A 法大全〔全訂版〕(上)(下)』(共編著、商事法務、2019)、『社債ハンドブック』(共編著、商事法務、2018)、『新株予約権ハンドブック〔第 4 版〕』(共編著、商事法務、2018)、『個人情報保護法制と実務対応』(共編著、商事法務、2017)、『種類株式ハンドブック』(共編著、商事法務、2017)、『経済刑法』(共著、商事法務、2017) など多数。

みさき投資 株式会社 代表取締役社長 中神 康議 氏

慶應義塾大学経済学部卒。カリフォルニア大学バークレー校経営学修士 (MBA)。アンダーセン・コンサルティング (現アクセンチュア)、コーポレートディレクション (CDI) で約 20 年弱にわたり、幅広い業種でコンサルティングに取り組む。2005 年に投資顧問会社を設立し、数々のエンゲージメント成功事例を生んできた。2013 年、みさき投資を設立。Harvard Business School, Protagonist。近著に『投資される経営、売買される経営』(日本経済新聞出版・2016 年)、共著書に、『ガバナンス改革 先を行く経営 先を行く投資家』(日本経済新聞出版・2017 年) など、執筆多数。